

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
17144	伊語Ⅳ	2単位 後期	1~4	講義	玉城 千春 (非)

■テーマ 中級レベルのイタリア語を習得する

### ■授業の概要

中級イタリア語の文法事項を続けて学び、さらに基本的文法事項のうち実際のコミュニケーションの中で使用頻度の高い重要なものを選び、より進んだ読解と会話の練習を行う。また学期末にイタリア語検定の模擬試験を行ない、自己の実力の客観的判断材料とする。できる限り聞き取りと作文の練習も行う。

### ■到達目標

- ・新しく学んだ文法事項を使って、より複雑な文を理解する。
- ・より高度なコミュニケーションができるようにする。

### ■授業計画・方法

- (1) Lezione 25 si の用法 (受動態と非人称) 解説と練習
- (2) Lezione 25 代名小詞 ci と ne 解説と練習
- (3) Extra 9 非人称動詞と非人称構文 解説と練習
- (4) Lezione 26 接続法 (現在と過去) の解説
- (5) Lezione 26 接続法 (半過去と大過去) の解説
- (6) Lezione 26 接続法の練習と動詞のまとめ3
- (7) Lezione 27 条件法の解説
- (8) Lezione 27 条件法の練習と動詞のまとめ4
- (9) Lezione 28 仮定文 (直説法を用いるタイプ) の解説と練習
- (10) Lezione 28 仮定文 (接続法と条件法を用いるタイプ) の解説と練習
- (11) 動詞のまとめ (4つの法の理解と練習)
- (12) Extra 10/11 大過去と先立過去の解説と練習
- (13) イタリア語検定5級模擬試験および解説
- (14) イタリア語検定4級模擬試験および解説
- (15) 期末試験 (文法、聞き取り) 及び中級レベル文法の総まとめ

### ■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・原則として、**伊語Ⅰ、伊語Ⅱ、伊語Ⅲを履修済みの学生**が受講できる。
- ・主に長文読解力や単語力を身につける為の提出課題を月に2回程実施、その都度指示する。
- ・単語小テストを月に1回程度実施。前の週に指示する範囲を暗記する必要がある。
- ・教科書について、各回の授業終了時に指示するページを十分に読み込んで、次回の授業に参加すること。

### ■成績評価の方法

- 方法 通常の授業態度・積極性 (30%)、課題提出・小テスト (35%)、期末試験 (35%)
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

### ■教科書・参考文献等

- 教科書:『イタリア語文法 徹底マスター』 駿河台出版社 I S B N 978-4-411-01744-4 ¥2500+税
- 辞書:「伊和辞典」及び「和伊辞典」(白水社、小学館、その他いずれでも構いません)